

スポーツYAMATO

いよいよ本領発揮!



中継ぎエース古川誕生だ

自作自演返上

4月12日、日本体育大学とのオープン戦で2番手で登板した古川が躍動した。序盤に8点を取られる展開で3回途中からマウンドに上がった古川だったが、4回に1点を失った以外はほぼ完ぺきなピッチングを披露。課題だった制球難もこの日は見られなかった。これまで四球を連発し自作自演投手と言われてしまった古川だったが、ここにきて一皮むけ、成長を感じさせてくれた。古川も今シーズンには5年目を迎えるがいよいよ本領発揮となるか要注目だ。まずは今シーズン中継ぎの任務を全うし、中継ぎエースとしての地位を確立したいところだ。もともと投手としてのポテンシャルは高い古川。今シーズン実績を積み、自信をつけていけば間違いなく次代のエース候補になるだろう。これまでの汚名を返上出来るかは古川次第だ。頑張れ古川。

新人池田3安打

新人池田のバットが相変わらず好調だ。3月の島根オープンでは4安打を記録したのは記憶に新しいが、この日のオープン戦2試合はともに途中出場ながら城西大学戦では1安打、日本体育大学戦では3打数2安打を記録した。どの場面でも思い切りよく振りぬく姿勢は新人離れしているといってもよいだろう。代打の切り札として開幕節ではチャンスの中で登場することが濃厚。打つても表情一つ変えない池田。このあたりが勝負強い打撃の秘訣なのかもしれない。

